

とよた 市議会 だより

12月市議会定例会
冬号
平成20年1月15日

ファイルNo.
86

これからのまちづくり構想を新たに定めます

基本構想の策定(第7次豊田市総合計画)

子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大します

医療費助成条例の一部改正

ピックアップ
TOPICS
トピックス

本年1月に開院した 豊田厚生病院



▲
西三河北部の医療拠点を目指して 加茂病院から名称を変え、1月4日から浄水町で外来診療を開始した豊田厚生病院。地上5階、地下1階で、リウマチ科や女性専門外来を新設。屋上ヘリポートを備えた救命救急センター機能や災害拠点病院機能、高度専門医療機能を充実させ、医療体制のさらなる強化を図ります。

中核市にふさわしい施策展開を目指して

～常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の活動状況～ ……

2

海外視察検討委員会が「答申書」を提出 ……

3

議案説明・討論 条例の制定や一部改正など

4

採決一覧 議案審議結果 ……

5

常任委員会 付託案件・請願・陳情を審査

6

市政について問う!

一般質問 23人の議員が質問 ……

8

情報あれこれ

議員研修会、議会報コンクール、市議会ホームページ

12



中核市にふさわしい 施策展開をめざして

常任委員会・議会運営委員会・ 特別委員会の活動状況

市民のみなさんの様々なニーズに
応えていくためには、豊田市独自の
施策を展開していくことが必要で
あり、このような施策を市(執行部)に
提言・提案することは、議会の重要な
仕事の1つです。

豊田市議会では、全国各地の先進
的な施策を調査研究し、本市にふさ
わしいと考えられる事項については、
より良いまちづくりを行うため、積極
的に取り入れるよう提言に活かして
います。

今年度も、本市議会に設置されて
いる常任委員会、議会運営委員会と
特別委員会が調査研究に関する行
政視察を行いましたので、それぞ
れの活動状況をお知らせします。

常 任 委 員 会

本市議会に設置している5つの常
任委員会(企画総務、生活社会、教
育次世代、環境福祉、産業建設)は、
主に定例会や臨時会に市長から提
案された議案を細かく審査していま
す。その審査結果は本会議で報告
され、採決で可否を決定します。よ
り充実した議案の審査を行うため、
行政視察などを通じて、幅広い知識
と見識の向上に努めています。



稲武地区ダウンバーストの爪跡を視察する議員

議会運営委員会

スムーズな議会の運営のため、議
会運営全般についての協議や意見
調整を図る場として本市議会に設
置し、議案、陳情などの審査、議会
の運営や議長の諮問に関する事項な
どの調査を行っています。

特 別 委 員 会

本市議会に設置している4つの特
別委員会のうち、公共施設機能検討、
食育推進、議会課題検討の各特別
委員会は、現在、本市が直面してい
る課題などから特定の事項を取り上げ、
調査研究を行っています。定例会や
臨時会の会期に関係なく活動して
おり、市政だけでなく、国・県などの
動向も注視しながら、社会情勢を見
据えた調査研究を行っています。

常任委員会の行政視察

委員会名	調査先	調査内容
企画総務 委員会 (10/30~11/1)	東京都調布市	PFI事業による学校整備
	群馬県太田市	土日の窓口開庁、1%まちづくり事業
	千葉県市川市	1%支援制度、電子自治体の構築
生活社会 委員会 (11/6~8)	東京都八王子市	浄化槽の市町村整備事業
	千葉県松戸市	消防救急車
	東京都	オゾン・生物活性炭を使った高度浄水処理
	千葉県柏市	防災公園整備事業
教育次世代 委員会 (7/31~8/2)	神奈川県川崎市	子どもの権利施策の検証システム、子どもの 権利学習の資料作成と促進、子ども夢パーク
	神奈川県横浜市	横浜教育ビジョン
	神奈川県	神奈川県立歴史博物館
	東京都	江戸東京博物館
	埼玉県	子ども権利擁護委員会の設置と活動
環境福祉 委員会 (11/6~8)	千葉県千葉市	保健福祉センターの機能及び運営
	埼玉県坂戸市	市民と行政との協働による健康づくり 事業、緑と花と清流基金事業など
	東京都港区	みなと環境にやさしい事業者会議など
産業建設 委員会 (11/13~15)	大阪府東大阪市	中小企業に対するものづくり支援
	石川県七尾市	七尾シンボルロード整備事業
	石川県金沢市	横安江町商店街地区歩けるまちづくり構想
	富山県高岡市	駅前再開発事業

議会運営委員会の行政視察

委員会名	調査先	調査内容
議会運営 委員会 (H20.1/9~10)	神奈川県海老名市	議場への大型モニター設置 議会の活性化
	東京都新宿区	代表質問への一問一答方式の導入 議決事件の拡大 議会の活性化

特別委員会の行政視察

委員会名	調査先	調査内容
公共施設 機能検討 特別委員会 (10/16~18)	長野県長野市	中心市街地活性化基本計画
	埼玉県さいたま市	さいたま市地域中核施設 プラザウエスト
	埼玉県川口市	川口駅前複合施設 キュボ・ラ
食育推進 特別委員会 (10/16~18)	福井県小浜市	健康、家庭教育及び施策の市民展開に 関する食育への取組状況
	福井県	食育先進県としての各種施策の 取組状況
	福井県越前市	食育実践プログラムの概要
議会課題 検討 特別委員会 (10/24~26)	大阪府堺市	健康、家庭教育及び施策の市民展開に 関する食育への取組状況
	栃木県宇都宮市	議員提出議案の取組
	神奈川県横須賀市	議員提出議案の取組
	東京都板橋区	政務調査費の見直し
埼玉県戸田市	政務調査費の見直し	



海外視察検討委員会が「答申書」を提出

6月から10月にかけて、今期の海外視察のあり方を検討していた海外視察検討委員会が答申書をまとめ、10月22日に議長へ提出しました。

答申書では14の「世界に目を向けて検討すべき豊田市の課題・懸案事項」を挙げ、今期の海外視察は、これらの課題等を解決するための調査研究活動の一環として実施すべきと提言しています。また、あわせて効果的で効率的な調査研究活動のための「要領」「要綱」も提言しています。

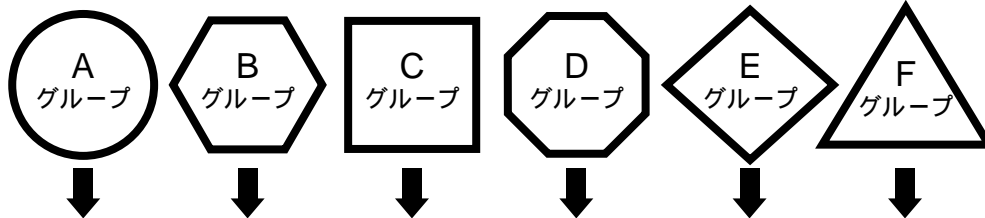
この答申を受けて11月16日及び12月7日に全員協議会を開催。今後は答申書記載の「調査研究活動要領」「海外視察実施要綱」の内容を踏まえ、政策提言を目標に調査研究活動を実施していくことにしました。

なお、調査研究結果につきましては、議会だよりで特集号を発行するなど、わかりやすい形で市民のみなさんへご報告します。

答申書の詳細は市議会ホームページでご覧いただけます

調査研究活動の流れ —— 「平成19年度 豊田市議会海外視察検討委員会 答申書」より

1 同じ問題意識を共有する議員により調査研究グループを編成



グループによる調査研究活動

2 調査研究項目の決定 ・具体的な調査研究項目を各グループで決定

3 現 状 把 握 グループ間の情報交換も行う

- ・グループ学習(調査研究結果をまとめるまで継続して実施)
- ・市執行部へのヒアリング
- ・関係団体との意見交換
- ・国内視察

4 海 外 視 察 (議 員 派 遣)

5 調査研究結果のまとめ

調査研究結果の活用

市民への報告 市執行部への政策提言 議員間での情報共有 など



基本構想の策定、医療費助成条例の一部改正など58議案を議決

	主な案件名	内容
制定 条例の	【第168号】 豊田市石畳 ふれあい広場条例	市民の交流と健康づくりのために、藤岡地区の石畳町にふれあい広場を整備します。体育館の使用料は1時間200円、温泉スタンドは1000リットル50円、この他、足湯施設やマレットゴルフ場も併設します。足湯施設と温泉スタンドは、平成20年4月から利用を開始します。
条例の 一部改正	【第173号】 豊田市基金条例の一部を 改正する条例	森林整備事業を推進するため、森づくり基金を新たに設置します。積立額は20億円です。
	【第178号】 豊田市医療費助成条例の 一部を改正する条例	保健の向上や福祉の増進を図るため、子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大します。また、1級と2級の精神障がい者の入院費用に関する助成額を増額します。施行は平成20年4月です。
取得 財産の	【第197号】 豊田市福祉センター 移転用地(錦町地内)	福祉センターの移転先の錦町地内約9,200m ² の用地を購入します。取得価格は約6億9,875万円です。
その他	【第200号】 豊田市基本構想の策定	社会経済環境の変化や本市の特性を踏まえ、平成29年度を目標に今後10年間の長期的なまちづくり構想「第7次豊田市総合計画」を策定します。将来都市像を「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」と設定し、「生涯を安心して生き生きと暮らせる市民」「共働による個性豊かな地域」「水と緑につつまれたものづくり・環境先進都市」という3つのめざすべき姿を掲げて推進します。

討 論

発言順に記載

諸 派 岡 田 耕 一

議案第171号は、法令中の「障害」の「害」の字を、特例でひらがな表記にする改正である。今後さらに、本来の日本語である石偏の「障碍」となって、市民理解を深めることを期待し、賛成。議案第178号は、子ども医療費だけを優遇するもの。健康管理により受診しない市民への施策や、他の世代、特に高齢者への医療費負担軽減策も検討すべきと考え、反対。

公 明 党 小 島 政 直

議案第173号は、森づくり基本計画の実効性を高め、財源的な裏付けを担保する基金となる。市民や森林組合に対して、本市の強い意志を示すことは安心感を与えるため、賛成。議案第175

号は、読み聞かせや読書の相談など、子どもに特化した図書室を設置するもの。乳幼児の読書活動を推進する拠点施設や、本と子どもをつなぐ人材育成の施設になると考え、賛成。

諸 派 大 村 義 則

議案第200号は、第7次総合計画案にトヨタの研究施設の立地支援が突如大きく登場した点や、総合計画を推進する職員体制の方針、土木費関係に偏った予算配分などに問題があると考え、反対。議案第222号は、人事院勧告に従って給料表などが改善されるもの。低賃金の非常勤職員の給与改善に向け、必要な対策の検討が打ち出されているため、賛成。

自 民 ク ラ ブ 清 水 俊 雅

議案第200号は、環境の視点や都市と農山村の共生が盛り込まれ、新たに

数値目標も設定されている。都市像のめざすべき姿の実現に向け、市民との共働による取組が確実に進められることを期待し、賛成。議案第212～214号について、豊田三好事務組合の解散は合理的な方法によるもの。市民福祉サービスの向上と、さらなる行財政運営の効率化を期待し、賛成。

市 民 フ ォ ー ラ ム 内 藤 貴 充

議案第178号は、子どもを持つ多くの家庭では医療費や教育費の負担が大きい。中学卒業までの通院と入院の自己負担額を無料化することは、大きな子育て支援策になると考え、賛成。議案第183号について、市債の繰上償還は減税補てん債と臨時財政対策債が対象である。交付税算入にも影響がなく、健全財政の維持は評価できると判断し、賛成。



議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています

12月市議会定例会に付された案件

Table with columns for decision result (採決結果), party (会派別), and votes (賛否). Rows include various council resolutions and motions, such as '市長の選挙におけるピラの作成の公営に関する条例' and '公平委員会委員の選任'.

議案第219号は諸派1名が棄権



12月12日の本会議で常任委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました(予算関係議案を除く)。常任委員会での審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。

産業建設委員会

12月13日、付託された19議案と請願1件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第182号】豊田市営住宅条例等の一部を改正する条例

質問 入居者や入居希望者が暴力団員だった場合、指定管理者はどこまでの手続きや対応ができるのか。

答弁 明渡し請求は指定管理者が行うが、暴力団員かどうかの警察への照会、明渡し請求後の訴訟などの法的な手続きは、市が行うこととしている。

【第196号】工事請負契約の変更(鞍ヶ池スマートインターチェンジ整備工事[岩盤掘削工])

質問 ボーリングの調査結果をデータとして使ったということだが、なぜ実際の岩盤が分からなかったのか。

答弁 岩盤線の推定のために、国と市で合わせて5か所のボーリング調査を行い、このデータで十分推定できるとして工事を進めてきた。しかし、場所が急峻な上に、道路がヘアピカーブのような複雑な線形になっており、予想と実際の岩盤線にかなりのズレが生じたためである。



環境福祉委員会

12月14日、付託された10議案と請願3件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願3件は不採択としました。他に陳情1件を報告しました。

【第171号】豊田市障害の表記方法の特例を定める条例

質問 この条例の意義について、市民の理解を深めるために、どのような取組を考えているか。

答弁 障がい福祉課の窓口に着く申請書類の様式変更や、広報とよたへの掲載、市立施設の施設看板の表記変更などを行い、周知を図っていく。



【第176号】豊田市一般廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例

質問 汚水処理に伴って発生する塩類を、今後どのように取り扱っていくのか。

答弁 工業塩や融雪剤などは有価物として出荷し、残ったものについては処理していく予定である。

教育次世代委員会

12月17日、付託された5議案と請願1件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第175号】豊田市中央図書館条例の一部を改正する条例

質問 こども図書室に関わるボランティア団体の役割と活動内容は。

答弁 ボランティア団体には、購入図書の推薦や図書の整理、ボランティアの育成、さらに、お話し会や季節的な行事などで運営にご協力いただいている。また、ボランティア独自の事業として、カンガルーブック活動や機関紙の発行、幼稚園や小中学校での読み聞かせ活動なども行っている。

【第179号】とよた子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例

質問 子どもつどいの広場の機能と今後、施設を増やす計画は。

答弁 子どもつどいの広場は子育て支援施設として、3つの機能を考えている。ひとつ目は、子育て相談やサークル活動を支援する「子育て支援機能」。2つ目は、子どもの居場所を提供する「児童健全育成機能」。3つ目は、高齢者などとの交流を図る「地域交流機能」である。志賀子どもつどいの広場では、このうち、子育て支援機能に重点をおいた事業を展開していく予定であるが、子育てを通じた地域との交流も、積極的に取り組んでいきたい。今後の展開については、地域の子育てニーズや子育て施設の地域バランスなどを考えたうえで、空き施設などの活用の是非を考えていきたい。第2の子どもつどいの広場としては、今後廃園が予定されている柳川瀬保育園の活用も検討したい。



委員会

生活 社会 委員会

12月18日、付託された6議案を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第168号】豊田市石畳ふれあい広場条例

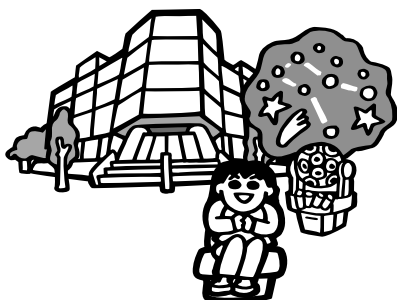
質問 温泉施設における省エネ対策及び排水処理はどうするのか。

答弁 省エネ対策として貯湯タンクに断熱材を使うことや、足湯の利用終了時に断熱シートをかぶせ、ボイラーの燃料を節約するなど考慮する。また、排水の処理方法は、通常の排水路への排水を考えているが、温泉水は弱アルカリ性のため、中和してから排水する予定である。

【第181号】豊田産業文化センター条例の一部を改正する条例

質問 豊田産業文化センターのプラネタリウムにおける使用料の積算根拠は。

答弁 今回の料金設定は、市内及び近隣市に同等施設がないため国内の同等施設の料金設定の状況を勘案して、この中の最低ラインの使用料を採用している。また、この施設が教育的施設であり、受益者の負担率をおおむね25%に設定している。



企画 総務 委員会

12月19日、付託された10議案と請願1件を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。

【第173号】豊田市基金条例の一部を改正する条例

質問 愛知県が森林環境税の創設を検討しているが、今回、森林整備事業の推進を目的とする、この森づくり基金を設置するにあたり、本市と県の役割と責任はどのように分担されていくのか。

答弁 現在、県は森林環境税を3つの分野に充てていくとしている。その中で「奥山の人工林整備」は、本市が策定した100年の森づくり構想で示した針広混交林化事業と同一趣旨のもの。そのため、森づくり基本計画の中でも本事業に対して森林環境税を充てることにしており、適切に役割分担がなされるよう、今後も県と協議していく。

【第200号】豊田市基本構想の策定

質問 第6次総合計画の将来都市像で触れられていた「文化」という言葉が、今回は触れられていないが、文化に対する取組をどのように考えているか。

答弁 文化は重要な要素であるため、基本構想のめざすべき姿の中で、自然・歴史・伝統文化などの多様な地域資源の有効活用について明記するなど、第7次総合計画においても、引き続き市民の文化活動の推進や郷土の伝統文化の保全・活用等の取組を進めていきたい。

意見書

【意見書第5号】
地方税財源の拡充についての意見書

上記の意見書を、全会一致で可決し、国等、関係機関へ提出しました。

請願

【請願第3号】
深刻な医師不足打開のための法制定を求める請願

【請願第4号】
看護職員確保法の改正を求める請願

【請願第5号】
最低賃金の大幅引き上げ、全国一律最低賃金制の確立、ILO第94号条約批准および公契約法制定を求める意見書の採択を求める請願

【請願第6号】
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

上記の4請願を所管委員会及び本会議にて審査を行った結果、不採択となりました。

陳情

【陳情第10号】
保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書の採択を求める陳情書

上記の陳情が提出され、所管の委員会に送付されました。



12月10日から12日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。質問・答弁の詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

梅村 進

自民クラブ

第7次豊田市総合計画基本構想への思い
教育行政計画の改訂の現状を問う
豊田市の未来を担う子どもに確かな学びを

新たな豊田市総合計画基本構想について

質問

第7次豊田市総合計画の基本構想が、本議会に議案として提出された。第6次豊田市総合計画との違いは何か。また、計画策定に対する考え方はどのようなか。

答 弁 市長

第6次総合計画では、将来人口を平成37年で37万1千人と想定したが、定住の促進や合併を踏まえ、第7次では、平成29年で43万人としている。計画の構成では、第6次の「基本計画」、「推進計画」を、第7次では5か年の「実践計画」とした。また、将来都市像を「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち」と設定している。

湯本 芳平

市民フォーラム

「第7次豊田市総合計画」について
学校規模の適正化について

生きがい情報・人材活用ネットワークの構築

質問

時間的な余裕が生まれる団塊の世代が、生きがいを持って社会貢献や生活ができる仕組みは、地域再生の道と考える。システム構築に向けた考えはどのようなか。

答 弁 社会部

人材活用ネットワークシステムは、NPO活動やコミュニティ活動など、公益的な活動を共働の仕組みの中で行い、まちづくりに生かすシステムとして構築する。このシステムの中核として、「市民活動情報サイト」を平成20年3月に立ち上げる計画である。このサイトは誰でも見ることができ、団体の活動内容などを一元的に発信・収集できる。

鈴木 章

自民クラブ

特別支援教育の取組について
過疎地域における学校規模の適正化について

小規模校のデメリット解消のための方策

質問

小規模校に対しては、統廃合で議論を進めるのではなく、どうしたら存続できるかという視点に立った議論が必要。デメリット解消のため、取り組むべき方策と実践方針はどのようなか。

答 弁 教育委員会

小規模校では、集合学習を取り入れ、他の学校との合同授業を行うなど、大きな集団で学ぶ経験をしている。現在、教育委員会で検討している方策として、「小規模特認校制度」がある。複式学級が抱える様々な状況を検証しながら、小規模特認校制度のあり方を研究しており、平成21年度モデル実施をめざし、授業実施案を作成している。

根本 美春

諸 派

保育の質を確保できる
保育行政を求める

「こども園」の民間移管計画
の中止を求める

質問

本市は公立保育園・幼稚園の民間移管計画を進めてきたが、今後の移管事業は予定通りに進めるのか。保育を企業の営利追求の場としないため、民間移管計画の中止を求めるが、市の見解は。

答 弁 子ども部

当初の計画では、事業の実績を検証し、新たな移管計画を検討する中間目標年次として平成20年度を設定している。平成20年度から移管事業の検証を行い、新たな移管計画の検討を行う。これまでも移管先として民間企業は対象としておらず、今後も保育の質を確保するため、移管法人の選定については十分配慮していきたい。

佐藤 恵子

公明党

教育行政計画改訂に基づく「教育行政」について
男女共同参画社会の推進

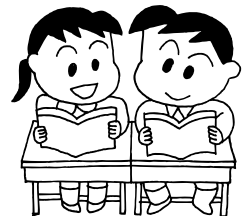
特別支援教育の
充実に向けて

質問

本市は特別支援教育の充実に掲げているが、障がいのある子の学習環境整備についてどう考えているのか。統廃合で空いた校舎を、特別支援学校として本市で配置することはできないか。

答 弁 教育委員会

障がいのある子への学習環境整備は、まず障がいを理解すること、その子にあった具体的な手立てを講じることを基本としている。特別支援学校は本来県の設置によるもの。本市として再三にわたり要望を続け、県から前向きな感触を得ている。今後、知的障がい者のための豊田市立の特別支援学校についても、様々な視点から研究していきたい。



岡田 耕一

諸 派

子ども医療費の無料化について考える

医療費無料化拡大に伴う影響

質問

医療費が増大した場合、国保会計に影響があるならば、一般会計からの繰入金増額で対応すべきと考えるが市の見解は。また、受診者数増による医師の負担増の恐れがある。市の認識と対策は。

答 弁 市民部
福祉保健部

医療費増の場合、国保会計への影響分は国・県の負担金への影響分も含め、県費補助金、一般会計からの繰入金を充てることとしているため、被保険者への負担に影響はないと考える。受診者数が急増すれば、医師の負担増につなが



質問順に掲載しています。

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

ると認識している。制度拡大に併せ、市民に適正な医療の受診をしてもらえるよう理解促進を図る必要があると考える。

小島政直 公明党

第7次豊田市総合計画基本構想について

子育て環境の充実に向けて **質問**

安心して子どもを産み、育てるために、子育て支援環境の充実が不可欠である。おめでとう訪問事業など、本市のこれまでの取組に加え、どのような施策を展開していくのか。

答弁 子育て部

妊婦健診は現在5回分を公費負担しているが、平成20年度からは14回に増やす予定である。おめでとう訪問事業は、平成20年度から10中学校区に拡大する。これらの支援に加え、思春期の経験が将来の子育てに役立つと考え、平成19年度、新たに「中学生のあかちゃん抱っこ体験」を授業で実施した。今後は思春期対象の事業も積極的に展開したい。

太田博康 自民クラブ

定住化促進の取組について
鉄道駅を生かしたまちづくりについて
地産地食の取組について

住宅供給・住宅取得の具体的な支援策 **質問**

結婚・出産・子育ての時期を迎えた若年ファミリー世帯の多くが、近隣の市町村に転出している。定住化促進に向け、住宅供給や住宅取得などへの支援策について、具体的な考えは。

答弁 都市整備部

宅地供給支援として、民間による住宅団地開発の公共施設の整備費に対する補助や、分譲・賃貸の共同住宅建設に対する補助を予定している。住宅取得支援としては、地域を限定しての奨励金の支給を考えている。これらの施策は5年間限定で行うこととし、平成20年度からの実施に向けて現在検討している。

都築繁雄 自民クラブ

中心市街地の活性化について
運動を中心とした健康づくりについて

豊田市駅周辺の基盤整備について **質問**

中心市街地活性化基本計画における、駅東口駅前広場の交通処理計画はどのようなか。また、緑の環境都市軸の拠点として、緑化計画など特色ある整備についての考えは。

答弁 都市整備部

「先進的な交通モデルを体感できる中心市街地の実現」は目標の一つであり、交通結節点である駅前広場は重要な基盤整備となる。今後、新たな公共交通システムの導入やバス動線など交通処理計画の検討を進め、回遊空間の創出につなげていく。また、緑化や景観といった環境空間整備にも配慮し、緑豊かな交通モデル都市の象徴として整備を進める。



鈴木規安 自民クラブ

学校規模適正化に対する教育委員会の取組
青少年の健全育成について

児童数の変動が大きい学校の現状 **質問**

美里・益富地区は、住宅開発で人口が増加して学校を新設したが、今後児童数が増える可能性は低く、統廃合の対象校も出てきている。現状で児童数の変動が大きい学校の状況は。

答弁 教育委員会

児童数が大きく減少している学校は2校あり、五ヶ丘小学校がピーク時の約5分の1に、五ヶ丘東小学校がピーク時の約7分の1にまで減少している。一方、浄水小学校では、現在の14クラスが平成

22年度には25クラス程度まで増加し、教室不足が予想される。将来的にも、区画整理事業により人口はさらに増加し、児童数は1,000人を超えると考えられる。

近藤光良 自民クラブ

医療・保健サービス体制の充実

支所単位でのサブセンター整備と健康づくり **質問**

市民の健康増進をめざし、安心して生活できる豊田市づくりのため、早急に保健業務サービス体制のあり方を見直すとともに、地域ごとにサブセンターを設置し、保健師やヘルスサポーターたちの活動拠点とすることを望む。支所単位でのサブセンターの整備について、市はどのように考えているか。

答弁 福祉保健部

平成20年度中にサブセンターの整備計画を策定する予定で準備している。サービス内容や設置所数、設置場所は計画の策定過程で検討していく。

吉野博子 市民フォーラム

国際都市「豊田市」の
多文化共生施策について

外国人の不就学児童への対応 **質問**

外国人の不就学児童、つまり学校へ行けない子どもたちに対して、平成18年度に文部科学省からの委託で調査を行ったと聞いている。調査結果と今後の対応はどのようなか。

答弁 教育委員会

就学年齢に当たる外国人児童のうち、所在が不明な児童の訪問調査を行った。不就学は11人で、就学を勧めた結果、平成18年12月の段階で3人まで減少した。残り8人に対してもしっかり就学を勧め、就学年齢を超えた1人を除き、2人が学校に就学した。不就学の調査は時間と労力がかかるが、今後は2年に1度ほどの調査の実施を検討していく。



質問順に掲載しています。

正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

外山 雅崇

諸派

市のプラスチック製容器包装類収集活動について

実効性を欠くプラスチック類の分別収集

質問

現在のペットボトルリサイクルは、結果的にごみを増やし、資源を多く使い、多額の市税を使っている。本市のリサイクルのあり方を再考すべきと考えるが、市の見解は、

答弁

環境部

石油からプラスチック材から製品を製造する方が、費用やエネルギーを多く使うことは認識している。だが、本市の一般廃棄物処理計画は、ごみの減量とリサイクルの推進などが基本方針のため、資源化可能なプラスチック類は再資源化することとし、焼却処分は考えていない。ごみを分別して出すことが、市民の環境意識向上につながると考え、分別収集は続ける方針だ。



稲垣 幸保

自民クラブ

平成20年度豊田市 予算編成方針について

地方法人2税見直しの動向と本市の予算編成

質問

地方法人2税の法人住民税と法人事業税を見直す検討が国で進められている。法人住民税は本市にとって大事な財源問題であるため、どのような情報により予算編成を進めるのか。また、見直しによる影響は、

答弁

総務部

現時点では国からの改正案・関連情報は一切示されていない。新聞報道では、法人2税のうち「法人事業税を都市部から地方に再配分することにより、税収格差の是正を図る」とある。この案通しなら、対

象が「都道府県税である法人事業税のみ」のため、市町村への直接的影響はないと考える。現在、平成20年度の当初予算の編成作業中で、国の動向に注視し、確かな対応に努めていく。

桜井 秀樹

市民フォーラム

障がい者自立支援法における市独自の対応

障がい者の自立を支援する本市独自の取組

質問

授産施設に通う人を一律に世帯分離をしたとみなせないか。また、現在結果的にお金を支払って施設に通っている人に対し、利用者負担金補助・給食費補助はできないか。

答弁

福祉保健部

依然として国の制度が変わっておらず、平成18年12月議会の答弁の通り、一律に世帯分離をしたとみなす考えはない。市としては、就労意欲の向上、自立した生活を可能にするという法の趣旨から、授産施設や小規模作業所での工賃アップを図る方向が本来の姿と考え、利用者負担金補助・給食費補助で調整することは、現時点では考えていない。

樹神 義和

市民フォーラム

「改訂 第2次行政経営戦略プラン」について

支所の窓口時間延長と出先機関開設について

質問

市民の間では、行政窓口の時間と場所に対する要望が多い。支所の窓口時間延長と大型店舗への出先機関の開設、T-FACEのA館7階にある豊田市駅西口サービスセンターの活用について、市の考えは、

答弁

総務部

平成20年度に、支所の窓口時間の延長や大型店舗への出先機関の開設について先進都市の調査・検証を行い、

駅西口サービスセンターのあり方も含め、本市への導入の必要性について検討していく。駅西口サービスセンターは、利用者数も開設時に比べ急増しており、人員配置なども含めて体制の充実を図りたい。

日恵野 雅俊

自民クラブ

市民の安全・安心を推進する施策について 豊田おいでんまつりについて

青色回転灯装着車による自主防犯活動の支援

質問

市内における青色回転灯装着車の現状はどのようか。青色回転灯装着車を運転・活動する上での資格取得や手続きに苦慮していると聞くが、市としての支援はどのようか。

答弁

社会部

市内では、現在21団体の67台が、「自主防犯活動用自動車」いわゆる「青パト」として活用されている。支援としては、警察署などへの申請手続きに関する相談や青色防犯パトロール講習会の手配、回転灯の貸し出し、防犯活動中である旨の表示板の配布をしている。青色回転灯の装着には多くの書類作成が必要となるなど申請者の負担も大きい。ため、できる限りの支援をしていく。

作元 志津夫

市民フォーラム

良質で適切な医療体制について 医療制度改革による影響と今後について

がんばった人が報われる仕組みづくり

質問

健康づくりでは健康状態と改善策を知り、長く続けることが効果的である。モチベーションを維持するため、がんばった人が報われる仕組みづくりについて質問する。

答弁

福祉保健部

来年度から、健康づくりに対する意識の高い地区を中心に、ウォーキング教室などへの参加や、個人および居住する



一般質問

諸 派：会派所属無

地域が自己宣言した健康目標の実施率に応じて、ポイント加算する事業を検討している。がんばった人が報われる仕組みとしてポイント還元することで、健康的な生活習慣が定着するまちづくりをめざしたい。



加藤和男

自民クラブ

豊田市都市計画マスタープランについて
「豊田市の交流館」について

御幸地区を「豊田の田園調布」として開発を

質問

本市の御幸地区は、地理的に中心市街地に近く、文化施設や教育施設も隣接している。歴史と文化があるこの地区を「豊田の田園調布」として住宅開発してみたいどうか。

答 弁

都市整備部

御幸地区は2つの鉄道駅を有し、文化施設や歴史的な地域にも近接している。魅力的な要素が整っており、比較的低層な住宅が立ち並ぶ地域である。具体的な計画づくりは、土地利用現況調査や地権者の意向を踏まえ、地元と一体となって検討したい。田園調布をイメージしたゆとりあるまちづくり先、地域の特性を生かす一つの案として受け止めたい。

梅村憲夫

自民クラブ

公共工事における入札制度について

地域社会への貢献も落札の評価対象に

質問

地域の建設業者は地域の自然条件や住民要求などをよく把握しており、災害時の緊急出動や雪氷対策活動などで地域社会に貢献している。こう

した活動を総合評価落札方式に加味しても良いのでは。

答 弁

総務部

平成19年度、「社会貢献」「地域貢献」として最大5点の配点とした。社会貢献はISO14001取得をはじめとする環境貢献など、地域貢献は災害ボランティア活動などを評価基準とした。平成20年度、本格導入する総合評価落札方式の詳細は今後検討していくが、品質確保を前提に、地域に密着した社会貢献活動なども、より評価できる制度にする予定である。

中根 大

自民クラブ

豊田市環境研究所の設置について
「豊田市森づくり基金」創設について

環境都市づくりのための環境研究所の必要性

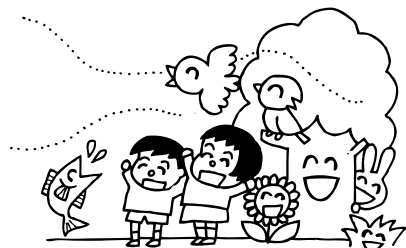
質問

市域全体の自然環境の実態把握が急務であり、本市の環境に取り組む姿勢を示すためにも、地方独立行政法人による環境研究所の設置が必要では、市の考えはどのようか。

答 弁

市長

環境研究所の必要性は傾聴に値するものとして同感であるが、組織のあり方や研究テーマなど、内容についてはよく検討する必要がある。環境基本計画の策定により、具現化に向けた施策をより的確に推進しなくてはならない。今後、環境審議会の意見を聞くなど様々な角度から論議を重ね、できれば平成20年度中に結論を出したいと考えている。



大村義則

諸 派

研究施設立地支援の公共性を問う
駅のバリアフリー推進を再度求めます

テストコース・研究施設誘致の公共的利益

質問

市長はトヨタ自動車のテストコース・研究施設誘致について「最大限の努力をする」と述べている。行政として最大限の努力をすべきとした、公共の利益の根拠は何か。

答 弁

総合企画部

自動車産業のグローバル化が進む中、本事業の実施により研究開発機能の集積・拡充を図ることは、将来にわたって自動車産業の拠点としての位置を確立することに大きく寄与するものと考えられる。また、下山地域の活性化やまちづくりにも多くの効果をもたらす、本市の産業振興や将来に向けたまちづくりを進める上で、公共の利益をもたらすと判断している。

清水郁夫

自民クラブ

高齢者を大切にするための取組
地域の活性化

南部の医療事情に関するアンケートから

質問

豊田市南部の高嶺地域の高齢者を中心に、医療事情に関するアンケートを取ったところ「南部に大きな病院がほしい。豊田市内の病院に通いたい。地域医療センターがほしい」など、切実な意見が多く出た。地域医療センターに関する市の考えはどのようか。また、基本構想策定の進捗状況は。

答 弁

福祉保健部

地域医療センターについては、再整備に向け、平成19年度・20年度において基本構想の策定を進めている。現在は、今後の同センターが担うべき機能を中心に検討している段階である。



議員としての視野を広げる議員研修会を実施

10月と11月の2回にわたり、秋の研修会を行いました。



西三河四市の議員に講義を行う二木氏

10月は西三河四市(岡崎、知立、安城、豊田)の市議会議員を対象に、安城市教育センターで開催されました。講師の二木啓孝氏は、フリージャーナリストならではの切り口で、国政の裏側や与党と野党の攻防などを解説。平成19年度の国政に関する大胆な予測も聴講でき、貴重な機会となりました。

【第31回西三河四市議会議員合同研修会】

【日時】平成19年10月29日

【テーマ】福田政権と秋の政局の行方

【講師】ジャーナリスト

ふたつき ひろたか

二木 啓孝氏



議員の危機管理について解説する大塚氏

11月には、市町村アカデミー客員教授の大塚康男氏をお迎えし、議会や議員に関する危機管理をテーマに実施しました。政務調査費といった公金にまつわる財務の問題や、兼職禁止など議員の身分に関する問題を題材に、日頃の危機意識の重要性を考えさせられる有意義な内容でした。

【第2回 豊田市議会全議員研修会】

【日時】平成19年11月29日

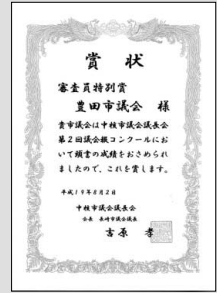
【テーマ】議会人のための危機管理術

【講師】市町村アカデミー客員教授、

元千葉県市川市議会事務局長

おおつか やすお

大塚 康男氏



議会報コンクールで審査員特別賞を受賞

平成19年8月、中核市議会議長会の総会で「第2回議会報コンクール」が実施され、「とよた市議会だより」は審査員特別賞を受賞しました。審査員からは「議案審議の各派の動向はもちろん、常任委員会、代表・一般質問も手際よくまとめてあります。モノクロですが、カラー編集に負けないくらい魅力的で、読みごたえを感じます」と講評をいただきました。



豊田市議会のトップページ

気軽にアクセス!

市議会
ホーム
ページ

代表・一般質問のやり取りをパソコン上で閲覧できる「インターネット録画放映」をご存じでしょうか。インターネット環境さえあれば、お好きなときに何度でもご覧いただけます。各議員の質問ごとに再生ボタンを選べる便利さもあり、議会の開催月はアクセス数が通常の約2倍に。議会の概要や市議会だよりのバックナンバーも公開中ですので、ぜひ一度ご覧ください。会期中、質問初日から7日以内(土日休日を除く。)に更新されます。

代表・一般質問の様子は、インターネット録画放映でも閲覧できます。

アクセスは検索サイトから **豊田市議会**

検索

または <http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.htm>

<その他>の「議会中継録画映像」をクリック!

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

	生中継・録画放送	生放送
放送チャンネル	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	ラジオ・ラプシート 78.6MHz

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

3月市議会定例会の予定

3月市議会定例会は

2月22日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「12月市議会定例会 冬号」です。

このページは裏面になります。本紙から抜き取ってご覧ください。